

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サニーロード平島				公表日	2025年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		児童一人ずつに机を配置。机上で宿題や個別の活動など行えるようにしている。集団での活動時もスペースを確保しながら対応している。また体調不良やクールダウン用の静養室も準備し、1人で落ち着けるスペースを提供している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		基準以上の配置をしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		生活空間は児童にとって周囲が見渡しやすい空間とスケジュールやルール等、目で見て分かりやすい環境設定に留意している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		週清掃をはじめ毎日必ず掃除、整理整頓を行い、環境に配慮した事業所運営をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		困った事や相談事、あるいはクールダウンしたい時に個別の部屋や場所を提供し、プライバシーへの配慮をしている。児童にとっても落ち着いて話せる環境に留意している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員会議と都度ミーティングを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に一度アンケートを行い、頂いたご意見を基に職員間で話し合いを行い、業務改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		職員間で業務について必要な改善、工夫が必要な場合、その都度職員間でミーティングを行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		内外の研修に参加し資質向上に努めている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		児童のアセスメントや児童の特性等踏まえ、職員間での支援の在り方も含めながら、作成、検討している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		児童のアセスメントや児童の特性等踏まえ、職員間での支援の在り方を検討し、保護者の方の意向も反映させながら、計画の作成を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		管理者、セラピスト、児童指導員等事業所職員で意見を出し合い、共通理解をしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		児童ごとの計画に基づいたスケジュールや課題、活動の提供を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		各領域ごとのアセスメントを踏まえながら、児童の適応行動の状況や日々の行動観察面での特性を確認し合っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		必要項目を設定し、児童の状況やご家族の意向も踏まえながら、見直し、検討、支援内容の設定を行っている。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		月で予定を立てチームで具体化、職員間で共有している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		興味関心を広げていく工夫をし、多職種の強みを生かしながら、様々な内容を提供している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		児童の状況や特性等踏まえながら、個別活動や集団活動を適宜組み合わせながら、計画を作成し、支援を提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		朝礼を毎日行い、注意点や配慮事項、プログラムについて職員間で確認、共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		毎日終礼を行い、振り返り、気付きや反省を踏まえ、職員間で情報共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々の支援に関する記録を毎日取り、職員間で支援の在り方などを検証しながら、改善につなげていけるよう共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		半年に1回の頻度で定期的なモニタリングを行い、児童の状況を踏まえながら、個別支援計画書の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		4つの基本活動を念頭に置きながら、事業所内の職員間（多職種）で連携しながら、支援の展開を図っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		複数ある選択肢の中から選べない場合は児童の特性に合わせ、選択肢の幅を狭める等の対応を行い、児童が自己選択、自己決定がしやすいような環境や雰囲気作りを行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		事業所の管理者や児童発達支援管理責任者、セラピストなど児童の状況や様子をよく理解している職員を参画するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて関係機関との連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		学校へのお迎え時は先生と情報交換・情報共有に努め、トラブル時には迅速に対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		保護者の同意を得た場合は極力情報共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて移行先への支援内容等の情報提供や共有を心がけている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		業務に支障がない範囲でなるべく研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		所内行事（まつり等）を通じて、地域の児童と交流する機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		子ども支援部会・強化教育事業になるべく参加している。	様々な職種のスタッフが参加出来るようしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		送迎時・連絡帳・電話・SNS・面談で情報共有を図っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		気軽に相談できる雰囲気作りに努めている。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時に必要な情報を丁寧な説明を含め、心掛けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		児童本人の気持ちや要望、保護者の意向を踏まえながら、支援の充実につなげるようにしている。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画書の見直し、作成にあたっては支援内容の説明を保護者に行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		連絡窓口を設けていつでも頼れる環境を整備している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>			必要性を考えながら対応を決めていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		児童や保護者から苦情を受け付けた際は、所内職員への状況の聞き取りを踏まえ、児童、保護者へ納得して頂けるよう迅速かつ適切に対応し、行政へも報告を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		LINEを活用し活動内容（写真や文面）を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報の取り扱いについては職員間でも日々のミーティング等でも確認し合い、気を付けるようにしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		意思疎通の難しい児童へは個別のスケジュールを提示したり、メモを活用しながら筆談等でやりとりしたりしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		年に2回のお祭りや、ハロウィンイベント等に案内をお配りしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		定期的な各種マニュアルの確認、訓練の実施など所内研修を用いたりしながら、実施している。各種マニュアル整備している。要望あればいつでも閲覧可能です。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		年2回実施し、消防署に届出している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		新規利用開始時に保護者の方から服薬状況や持病（てんかん発作等）についての情報を得て、確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		食物アレルギーのある児童の把握、対応について保護者に確認し、職員間でも共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全管理に必要な研修、送迎における適切な運転操作などの研修の機会をもち、事故に対する危険認識を高められるよう職員に周知している。各種マニュアル整備している。要望あればいつでも閲覧可能です。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		各種マニュアル整備している。要望あればいつでも閲覧可能です。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		職員間で共有・閲覧できるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		委員会、研修を行い、共有している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		現状、身体拘束の必要な対象児童は居ないが、やむを得ず、必要な機会が生じれば手続きを踏んで、適切に対応していきたい。		